



Isetan Mitsukoshi Group Labor Union

IMP D支部 **Heart Net** 労使協議報告会広報

三越伊勢丹グループ労働組合 三越伊勢丹プロパティ・デザイン支部 内線 801-23-911 外線 03-5273-5165

IMP D支部のみなさん、2025年6月賞与要求（案）について、メンバーズ VOICE の参加、動画の視聴と多くのみなさんの声をいただきありがとうございました。

参加メンバーは、賞与支給対象者 240 名中、179 名の出席になり出席率は 74.6%となっています。

5月20日（火）に労使協議会を開催し、組合の要求に対し、会社より満額回答をいただきました。

- 開催日時：5月20日(火)16:00～
- 開催場所：本社 会議室1
- 参加者：(会社) 手塚・長島・松永・中務（敬称略）（組合）田中・鶴見

2025年6月賞与 交渉終結！



会社より満額回答

<今回の賞与交渉>

・6月賞与 VOICE でお伝えしましたが、今回の賞与支給について、社員ステージ A、ステージ B は 2024 年度の業績と内容を確認した結果、減額の交渉をおこなってきました。

社員ステージ C、技能社員、メイト社員、エルダースタッフのみなさんは支給表通りの要求をしています。

<6月賞与 VOICE のメンバーの声 抜粋>

- ・今回の賞与、ステージ B 以上は支給表から減額となったことについては、全雇用形態が重く受け止めている。
- ・営業利益は 1.8 億円という結果になったが、賞与の減額は厳しい印象がある。
- ・会社側、経営層も今回の賞与が減額になったとすることを重く受け止めてほしい。
- ・今回の案件をすすめる中で、起こっていた内容の振り返りは、全従業員へ共有をしてほしい。
- ・結果につながった部署、個人へは、適切な評価をつけて欲しい。
- ・経営層とシニア、チーフ、マネージャー、実務者の関係各所の連携、コミュニケーションが良くないと思う。
- ・ベクトルを合わせ共有することができなかったことが今回の結果なので、心理的安全性のある組織づくりが必要と思う。
- ・今の働き方や進め方を見直さなくてはいけないと考える。会社と組合しっかりと改善に向けて協議をしてほしい。

<田中支部執行委員長よりコメント>

今回の6月賞与については、24年度業績結果とその要因を十分に検証した結果、ステージA・Bについては、残念ではありますが、責任の度合いを踏まえて減額となりました。

今回のVOICEにおいては、理解を示す意見もあった一方で、減額であることに対する意見・提言もありました。賞与はメンバーへ与えるモチベーションにも影響するものだと考えておりますので、今後の賞与交渉に向けては、業績含めあらゆる状況を見ながら、組合としては、メンバーの納得性を考慮し協議させて頂きたいと考えています。

2025年度は、7億円の営業利益目標に向かってすすんでいきますが、メンバーが少しでも意欲高く働き続けられる環境づくりに労使で協力しながら取り組んでいきたいと考えておりますので引き続きよろしく申し上げます。

本日は、どうもありがとうございました。

<手塚社長よりコメント>

社員の皆さんから寄せられた率直なご意見を、VOICEを通じて共有していただきありがとうございます。経営としても、皆さんと同様に今回の事案を重く受け止めております。

VOICEにもありました今回の案件内容についての「情報共有」では、関係者だけでなく全社的に何が起きたのかを明確に伝える必要があると感じています。

先日発信した2024年度のアクションプランの結果報告においても、具体的な説明が難しい場面がありました。現場状況に応じたマネジメントの重要性を再認識しています。

今回、マネジメント層に対して支給表の見直しをおこなったのも、事業会社としての責任と再発防止への強い意志を示すためと考えています。

VOICEでの意見を受け、賞与がモチベーションにつながるという声に対し、経営としても目標達成に向けた取り組みを重視しています。掲げた目標は決して達成不可能なものではなく、同業他社の利益率や生産性、一人当たりの成果などを参考にしながら、今期の7億円の営業利益目標は実現可能と判断しています。

この目標に向けては、個人の努力だけでなく、組織全体としての役割分担や働き方の見直しが必要です。経営側としても、なぜこの目標を設定したのか、どのような体制で取り組むのかを明確にし、社員の皆さんと共有していきたいと考えています。

また、環境対応やデジタル化など、仕事の仕組みそのものが時代に合わせ変化が求められています。働きやすい環境づくりや業務効率化の手法についても、経営として引き続き検討していきます。

前回のVOICEで寄せられた「机(スペース)が狭い」といった声を受け、総務部が中心となってオフィスの拡張を進めています。具体的には、6階の一部を新たに借り、8階の総務企画メンバーを移動させることで、事業部の作業スペースを広げる対応を行っています。

今後も段階的に職場環境の改善を進め、より働きやすい職場を考えていきます。皆様のご理解をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ご不明点・お問い合わせなどありましたら、下記連絡先までご連絡ください。

三越伊勢丹プロパティ・デザイン支部 田中・鶴見

内線：801-23-911 外線：03-5273-5165